

平成21年度第2回機械振興補助事業審査・評価委員会 議事要旨

1. 日 時：平成21年12月8日(火) 午後13時～14時30分

2. 場 所：財団法人 JKA 7A会議室

3. 出席者：(委 員) 大山委員長, 岡委員, 古宮委員, 野坂委員, 山田委員
(本財団) 久能木理事, 笹部機械工業振興 G 長, 浅倉振興事業 T 長,
小林自転車振興 T 長, 多門 S 長, 松前 S 長, 大島 S 長,
池田公益事業振興 G 長

4. 議 題

- (1) 競輪・オートレースの現況について
- (2) 平成22年度機械工業振興補助事業の要望状況について
- (3) 平成22年度査定方針(案)について
- (4) その他

5. 議事要旨

- (1) 競輪・オートレースの現況について、事務局から説明した。
- (2) 平成22年度機械工業振興補助事業の要望状況について、事務局からの説明後、意見交換が行われた。主な内容は、以下のとおり。

- 事業実績をもっていない新規団体については、事業の公益性を担保できるものがない。
- 新規団体については、事業遂行能力を確認し審査する。
- 地域振興を目的とする法人の要望については、事業として県・一部の地域を越えた広い公益性が必要である。

- (3) 平成22年度査定方針(案)について、事務局からの説明後、意見交換が行われた。主な内容は、以下のとおり。

- 競輪やオートレースが、どれだけ社会貢献をしているかについて、積極的に世に知らしめるべきであり、補助広報に力を入れるべきである。
- 競輪の補助事業のブランディングに資するためにも、各補助事業者のホームページにバナーを掲載してもらうことは有益。表示方法のパターンを具体的に掲示して、要請すべき。
- 固定費についてはゼロにするのが基本で、厳しい方針で臨むことが妥当。

以上の意見を踏まえ、平成22年度査定方針(案)を元に審査をすすめることについて了承された。

(4)その他

21年度に新設された緊急対応事業について、要望があった事業(3件)について報告を行った後、意見交換が行われた。主な内容は、以下のとおり。

- 「緊急案件」の補助率については、当面、1/2だけでなく、項目によっては2/3、3/4を適用することも可とする。
- 「緊急案件」の知名度を高める活動を行う必要がある。

本年度実施した、補助事業のあり方の調査について、調査結果骨子を説明した後、意見交換が行われた。主な内容は、以下のとおり。

- サンプル数が少ないが、補助事業者の自己評価と今回の調査結果の相関関係は高いと見られる。
- 今後も変わらぬクォリティで補助事業を精査する手法を考えていく必要がある。
- 成功事例に、補助が関わっていたことをアピールしていく必要がある。
- 売上減少が続く中、1件ごとに一層深く掘り下げ、内容のある補助をしなければならない。

次回、審査・評価委員会は平成22年2月上旬に開催予定。

(本議事要旨は、事務局において作成した。)